

## ■編集後記

アプル総合計画事務所創設から早いもので36年を経過しました。2020年は大きな時代の転換点となりつつありますが、この新たな年度の暦が切り替わる時期に始まる「新型コロナウイルス(Covid-19)禍」が席卷し、私どもにも4月以降に予定されていた継続プロジェクトが軒並みストップとなりました。事務所もフレックスタイム導入やテレワークでみんなが集まるのも儘ならないなかでも、果敢にも2件のプロポーザルに挑戦、その実績書づくりを兼ねて6年前の30周年の際に作成配布した「APL/UD30」の関係プロジェクトのバージョンアップ作業を行い、ちょうど半年前から前掲の未掲載事例やその後の実現事例の追跡調査をこまめに行っていたこともその補強となり、プロポ用資料は何か間に合いました。

次にHP公開事例の更新作業へととんとん拍子に運んだのは良いものの、運悪く事務所サーバーデータのクラッシュが発生し、諦めムードが漂うなかでHDメーカーさんの復旧作業が成功し、加えて国の行動自粛解除のタイミングでいくつかの追加調査も可能となり、どうにかHP改定の第一弾にこぎ着けたのが7月初旬のことでした。そうなると、今後のプロポーザルの際の資料増強と新規仕事開拓のためには、やはり紙媒体の印刷製本を！との声が挙がり、急速前回お世話になった印刷会社さんと表紙デザインのニューヨーク在住の石川映子さんに相談すると、「ぜひ協力しましょう」との嬉しい申し出で実に短期間での小冊子の実現と相成りました。頁数も前回の80頁から112頁に増加し、内容もかなり豊富になったかと思えます。

目次構成も前回の「建築・都市デザイン」「まちづくり・都市計画・研究調査」「景観設計・ランドスケープデザイン」の3部構成から、複合的な取り組みを旨としていたアプルの主張を明確化する意味で、経年的に関与してきたまち・地域を独立し、計8部構成に再編させて頂きました。見返してみれば、これまでの36年間、私どもは少人数態勢のアトリエ的雰囲気の仕事所運営を心掛け、そのなかでそれなりの成果を得られたのは、幸運にも若き優秀なスタッフ連に恵まれてきたこと、そして彼らが実践活動のなかで大きく成長し、羽ばたいてくれたことも大きかったと実感しています。一方で私どものような小さな組織でもこのような実績を上げることができるということを確信され、クライアント側の調整作業に尽力された方々がいらしたということ、そしてその思いを実現すべく私どもなりに地域に根差した活動を重ね、地元の方々に寄り添う姿勢を貫いたこと、それに共鳴された市民の方々や行政担当者が私どもが離れたあとでもフォローされて来ていることも大きいと感じています。その意味ではこれらの成果は、参画された方々全員との共同作品であること、これも表明しておきたいと思えます。

あらためて、これまでアプルを応援・励まして頂いた方々、並びに力を与えてくれたOBOG・現役スタッフ諸氏に感謝するとともに、これまでの作品・成果を皆さまと共有させて頂きたいと思えます。今後、更なる挑戦を続けることを宣言させていただきます。

2020年7月 株式会社アプル総合計画事務所・代表（APL/UD36編集責任者） 中野恒明

## ■奥付

APL/UD36 株式会社アプル総合計画事務所 / 都市デザイン 36年の軌跡/1984—2020

発行日：2020年7月31日

企画・発行：株式会社アプル総合計画事務所  
東京都中央区八丁堀3-17-13 TMYビル4階  
TEL 03-6280-5941 FAX 03-6280-5942  
<http://www.apl-ud.com/>

編集：初版（2014版）中野恒明 清水二郎 大木一 光賀博紀 押澤みわ  
：改訂版（2020版）中野恒明 清水二郎 茅根雅司 山本大

表紙デザイン：石川映子  
印刷：大東印刷工業株式会社

無断掲載・複製・引用を禁じる <非売品>